

## 経営のヒント50 『価値観の共有』

～ ～ ～ 価値観の共有は言葉の意味の共有から～ ～ ～

企業風土にとって経営理念の共有が重要なことは、誰もがわかっています。

しかし、企業という組織にとって企業風土、つまりは『価値観の共有』するには、どうすればいいのか？これを理解し、実践している先は少ないように感じます。

**価値観を共有するには、2つを共有しなければなりません。**

**言葉の共有」**

**事実の共有」**

**言葉の共有」とは、言葉の意味の共有理解です。**

ひとそれぞれ、言葉の意味をそれぞれが勝手に理解しております。

例えば、整理と整頓はどこが違うのか？ 報告・連絡・相談 確認の違いは？

又、今流行りのCSやITなど、知っていて当然だから恥ずかしくて聞けない。

「賢者は歴史から学び、愚者は経験に従う」

日本の歴史から学ぶと、明治維新からたった20年で先進国に何故なれたのか？

その本質は？

教育・・・これは誰もが理解していることです。

でも、どうやって？

ここにヒントがあります。

日本人の先賢の素晴らしさ。

これは「翻訳」です。

外来語（特に英語など）を全て、日本語に翻訳したのです。

今、我々が日常ビジネスで使用して言葉は、翻訳して、日本人が誰でもわかるようにしたのです。

それを学校教育にて浸透していったから、優秀な教育レベルの高い国民が育ったのです。

「外国語」を「日本語」に変える。

もし、「カタカナ語」のままだったら、どうでしょうか？

わかったような、わからないような、又、人それぞれ。

そして一部の外国語が話せるエリートだけが。

これでは、「教育レベルの向上」も「言葉の意味の共有」も出来なかったことでしょうね。

皆さん、いかがですか？

今の日本の教育はこれでいいのでしょうか？

英語を小学生から義務教育にする？

とんでもないことです。

まずは、国語（日本語）教育をもっとしっかりする

言葉の意味や語源などを徹底する必要があると感じております。

これが、企業で研修している実感です。・・・(価値観の共有)次回に続く。